

# 工高生らが現場見学

## 帯広建協 光団地3号棟など

【帯広】帯広建設業協会（秋原一利会長）は9月29日、帯広工高と帯広高等技術専門学院の生徒を招き、現場見学会を開いた。帯広工高建築科38



工事概要の説明を受け、建物の基礎などを見た

人と帯広高専建築技術科43人の計81人が参加。市内の建築現場で施工手順などを確認し、知識を深めた。

専門技術を学ぶ生徒でも建築現場を見学する機会には限られているため、日ごろの学習や進路を決める際の参考にしてもらおうと、同建協の建築委員会が毎年開いている。

この日は、帯広市発注の大空団地3街区市営住宅全面的改善光団地3号棟、豊成小校舎改築建築主体の2現場を見学した。

山田英和建築委員長は「建築工事には何もないところから建物を造り上げる喜びがある。いろいろな技術を集約して建物ができる。見学会をキャリアアップにつなげてほしい」と呼び掛けた。

現場代理人を務める宮坂建設工業の小野直理建築部工事課長が案内。基礎鉄筋を組み上げる段階で、進捗率は4・5

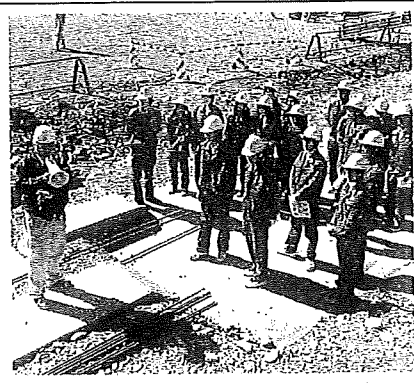
%程度。生徒は、基礎部分のラップルコンクリートの打設状況や今後組み上げる鉄筋の重さを確認した。

# 建設10/1

帯広建協建築委が見学会開催

## 生きた現場に興味津々

### 帯広工業高生ら70人参加



の意欲促進や幅広い人材の確保を図ろうと毎年開催。宮坂・市川・北のハウスJV施工の「大空団地3街区市営住宅全面的改善建築主体光3号棟」と、宮坂・市川・北のハウスJV施工の「豊成小校舎改築建築主体」の、帯広市発注の2現場を両校の生徒が交代で見学した。

帯広工業高校の生徒は最初に「豊成小校舎改築建築主体」の現場を見学した。現場では建築委員会の山田委員長が出迎え、「建設業はいろいろな技術を持った人たちが力を合わせ、何

もないところから物を創りあげる仕事。大変難しいが大きなやりがいや喜びもある。生きた現場を見ることは大きな刺激になるはず。分からないことがあれば積極的に質問して、キャリアアップにつなげてほしい」と呼びかけた。

この日、現場では基礎鉄筋と型枠工事を施工。現場代理人が工事概要や工法、工期・工程や、安全に対する取組等を説明した。生徒は現場に置かれていく鉄筋に触れて、重さを確かめてみたり、現場代理人に盛んに質問するなど、興味津々の様子で意欲的に現場を見学していた。

帯広工業高校の生徒は最初に「豊成小校舎改築建築主体」の現場を見学した。現場では建築委員会の山田委員長が出迎え、「建設業はいろいろな技術を持った人たちが力を合わせ、何

もないところから物を創りあげる仕事。大変難しいが大きなやりがいや喜びもある。生きた現場を見ることは大きな刺激になるはず。分からないことがあれば積極的に質問して、キャリアアップにつなげてほしい」と呼びかけた。

【帯広発】帯広建設業協会（秋原一利会長）の建築委員会（山田英和委員長）は九月二十九日、現場見学会を実施した。帯広工業高校と道立帯広高等技術専門学院の生徒合わせて七十人が二現場を見学。生徒は「臨場感のある勉強ができてよかった」と話し、建設業の役割や現場の雰囲気などを学んでいた。写真1。

建設業に対する理解、関心を深めてもらい、就職へ